

もう始まっています！ 地球温暖化

～ 宮古島地方の気候変化と将来予測 ～



気象庁マスコット
キャラクター
「はれるん」

はじめまして、「はれるん」です。

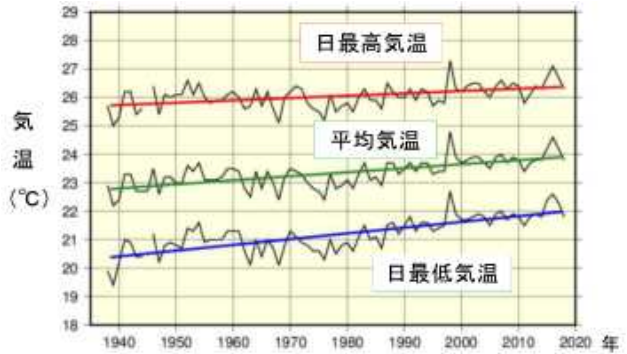
私達が住む地球は、人類が石油・石炭を大量に消費したために、大気中の二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスが増加し、**地球温暖化**が進行していると考えられています。

◇日気温が上昇しています。

・宮古島では、平均気温が100年あたり約1.4℃の割合で上昇しており、日最高气温や日最低气温も、同様に上昇しています(右図)。

◆地球温暖化がそのまま進むと、 ○35℃以上の猛暑日が頻発します。

・宮古島では、21世紀末には平均気温が約3℃上昇すると予測されています(下図左)。また、これまでほとんどなかった猛暑日(最高气温35℃以上)が現れるようになり、猛暑日の年間日数が約60日になると予測されています(下図右)。



平均気温(平年)
(1981~2010年)

平良 23.4
下地島 23.6
多良間 23.9

単位:℃

21世紀末の予測
(2076~2095年)

平良 26.6
下地島 26.8

単位:℃

⇒ 農林水産業や生き物への影響が心配されます

猛暑日日数(平年)
(1981~2010年)

平良 0
下地島 0
多良間 0

単位:日

21世紀末の予測
(2076~2095年)

平良 56
下地島 63

単位:日

⇒ 熱中症が多くなる可能性があります

○大雨の回数が増えます。一方、雨の降らない日も増えます。

(浸水・土砂災害の増加と、逆に渇水リスクが高まる可能性があります。)

21世紀末には、滝のように降る雨(1時間降水量50mm以上)の回数が増えると予測されています。

20世紀末
(1980~1999年)

約0.9回

21世紀末
(2076~2095年)

約2倍に増加

宮古島地方の
1時間降水量50mm以上の年間回数(1地点あたり)の変化

⇒ 浸水、土砂災害が増える可能性があります

21世紀末には、雨の降らない日が約8日増加すると予測されています。

20世紀末
(1980~1999年)

比べて

21世紀末
(2076~2095年)

約8日増加

宮古島地方の
日降水量1mm未満の年間日数(1地点あたり)の変化

⇒ 渇水リスクが高まるかもしれません

○ひとひひとひが、省エネについて考えましょう！！

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 Tel: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)